

2019年度「キッズデザイン賞」10年連続受賞

株式会社日本ハウスホールディングス(本社:東京都千代田区)は、キッズデザイン協議会が主催する「第13回キッズデザイン賞」において2部門2作品が受賞しました。これにより、10年連続での受賞となりました。

日本ハウスホールディングスは創業以来、丈夫で長持ちする家づくりを志向し、「檜品質」「ゼロエネ品質」「快適品質」にこだわり、木造軸組工法の技術品質向上、国産材の普及に努めてまいりました。

親から子へ、子から孫へ、そしてそれ以上に日本ハウスホールディングスの家を継承していただきたいという強い思いから、子供達の想像力・空想力を高めると同時に家族の繋がりを促す住宅及び伝統工法の継承、安心・安全・快適を追求し、今回の受賞に至りました。今後も弛まぬ技術向上と、お客様が安心して任せられる住宅づくりを行ってまいります。

【受賞作品】

- ・大工さんをつくる家 / 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門
日本ハウスホールディングス×滋賀県立大学/ESTEC and Partners 金子尚志
- ・断熱・壁埋込型宅配ボックス / 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門
日本ハウスホールディングス×滋賀県立大学/ESTEC and Partners 金子尚志



キッズデザイン賞はすべての製品・空間・サービスなど幅広く対象とする顕彰制度です。「子どもが安全に暮らす」、「子どもが感性や創造性豊かに育つ」、「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という3つのデザインミッションを実現するための優れた製品・空間・サービスを選び、広く社会へ伝えることを目的としています。受賞作品には「キッズデザインマーク」の使用が認められます。



主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省、内閣府、消費者庁
(参照)キッズデザインAWARD : <https://kidsdesignaward.jp/about/>

『キッズデザイン賞 受賞内容』

■大工さんをつくる家 ～ 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門 ～

「大工さんをつくる家」は計画の初期から、大工棟梁が、設計者、建て主家族と協同し、3者のリーダーとなって住まいの建設を進めます。子供たちは、憧れである大工棟梁の姿、実際の建設作業を目の前で体験することができます。直営の棟梁だからこそ可能なシステムで、実際の建物づくりを担う大工棟梁が計画の初期段階から関わって進めることで、質の高い空間を実現することを可能にしました。子供たちには、大工棟梁の家づくりを目の前で体験し、将来のものづくりの仕事への関心を高めてもらい、技術を継承していきます。



大工棟梁との家づくり 上棟式～現場見学ほか

■断熱・壁埋込型宅配ボックス ～ 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門 ～

断熱・壁埋込型宅配ボックスは、従来のような不在時の受取だけでなく、外部へ出ずに受取ること、在宅時に直接対面せずに受取ことも想定して開発しました。子供だけで留守番している時でも安心して受け取り可能です。壁の納りディテール、内側の扉や断熱の納りを改良することで寒冷地に適応し、設置場所の問題、管理やコストなどの課題も解決しました。



■本件に関するお問い合わせ

株式会社日本ハウスホールディングス
〒102-0072東京都千代田区飯田橋4-3-8
URL: <http://www.nihonhouse-hd.co.jp/>

担当; 広報・広告室 小長谷、佐藤
TEL: 03-5215-9881 FAX: 03-5215-9909
E-mail: kkonagava@nihonhouse-hd.co.jp